

戸田市 施策評価シート

作成日	平成29年06月09日	作成者名	佐藤 健治	評価者名	今井 教雄
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	04 緑と潤いのあるまち	中心となる課	環境経済部・みどり公園課
分野	01 緑地・緑化	関係課	
施策	39 緑地・緑道の整備促進		
施策の目的	市民が緑と潤いのある環境の中で生活できるよう、地域の植生を活かした公園の緑地・緑道などの空間を整備し、身近な場所で、市民の誰もが気軽に集い、憩える場所を整えます。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	環境空間暫定整備事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値						
				H27	H28	H29	H30	H31	H32	
新規公園の整備件数	新規公園の整備件数 (環境空間を含む公園等の整備件数)	件	4	0	1					
環境空間の有効活用率	環境空間の有効活用率 (戸田市・JR東日本による活用率)	%	67.27	64.68	67.24					
その他施策の取組事項に係る成果	環境空間整備事業では緑地・緑道の整備のほか、東日本旅客鉄道株式会社による環境空間有効活用の誘致企業の業種の協議、及び調整をおこなうなかで、環境空間敷地内に認可保育園6園の開園が可能となった。									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	環境空間整備事業の進捗率は、東日本旅客鉄道株式会社の有効活用箇所、モデル整備地区としての緑地・緑道及び市の本整備区域などをあわせて67.24%となっている。残りの32.76%については新曽第一・第二土地区画整理事業地内の公園整備とあわせて一体整備をおこなう区域や、東日本旅客鉄道株式会社が有効活用する土地について市が暫定的に緑地・緑道を整備する区域となっており、本事業の進捗は各事業者の事業の進展に依存する状況となっている。また、施設整備後の維持管理についての市民参画の方法が課題となる。	対応策	市の本整備区域においては土地区画整理事務所と、暫定整備である緑地・緑道を整備する区域については東日本旅客鉄道株式会社と（環境空間）有効活用についての協議・調整をおこなっていく。また、施設整備後の維持管理について、市民参画の方法の研究をおこなっていく。
----	--	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	東日本旅客鉄道株式会社が所有している環境空間は、「戸田華かいどう21」計画に基づき協議・調整を行いながら整備を進めており、平成28年度末にて全体の67.24%が有効活用された。残りの環境空間の有効活用は、区画整理事業の進捗やライフラインの整備などが待たれたり、店舗などの積極的な活用が望まれる。
C		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	環境空間周辺地域の課題として、新規公園の整備や連続した緑地・緑道の確保とともに東日本旅客鉄道株式会社がおこなう環境空間有効活用の企業誘致についても、地域の課題解消に寄与できるような業種を協議・選定し議会等へ報告する必要があることから、現状を維持し業務を実施していきたい。
→		

(評価者コメント)

川岸の（戸田1）2,686㎡については、平成30年度以降の先行整備実現を目指して協議を実施願いたい。
--

